

Q 保育所は自治体運営で

A 指定管理での運営が望ましい



桜ヶ台保育所



伊藤好晴議員

地域の子育てに自治体として役割を果たし、今後の町づくりを生かすことが保育所に課せられた仕事です。民営化は自治体の責任放棄につながります。

財政問題や国の方針で民営化を進め、一部を指定管理に移すのは、直営と指定管理が混在し、保育所間で格差を生み、定住対策に支障をきたすのでは。

山崎英樹町長

現在四保育所一六〇名を、正規職員一三名、臨時一一名の保育士で保育を行っておりますが、将来にわたり適切な保育を行う体制としては、指定管理による運営が一番望ましいと考え、細部について詰めていきます。

Q 後期高齢者医療制度の周知と介護保険負担軽減を

A 機会をとらえて周知し、保険料の抑制に努力

伊藤議員

十月から扶養家族保険料がなくなり、国民健康保険の被保険者が六五歳から七四歳だけの世帯主は、国保料が年金から天引きされます。保険料の口座振替によると節税も可能であり周知すべきでは。

雲南広域連合が保有している介護保険基金の二〇年度見込み額は十六年度の三倍、三億七千万円です。基金を適正額まで引き下げ、被保険者の負担を軽減すべきでは。

山崎町長

後期高齢者医療制度は個人ごとに納付をすることで、このような状況が生まれませんでした。

口座振替により、結果的に世帯主の負担が軽減される場合があるということは知らせていないので今後機会をとらえて周知します。

介護保険基金が積み上がったのは事業の変更等事情があります。要介護者の実情を踏まえ、

必要なサービス基盤の整備など、基金の活用をしながら保険料の抑制に努めます。

Q デジタルと同時にアナログ放送を

A 双方向通信の利用を考えます

伊藤議員

政府は二〇一一年までにデジタル放送化をし、アナログ放送全廃の決定をしました。

当町では、セットトップボックスという機器を設置して、アナログテレビでも受信できる計画です。

デジタル電波はアナログに変換可能であり、並行して流すべきと考えます。

ケーブルテレビというシステムを生かす研究とインターネットの接続スピード向上を合わせ、一部事務組合によるケーブルテレビの

運営見直し問題も含めて検討が必要です。

山崎町長

ケーブルテレビでは、デジタル対応型に買い替えなくてもよい方式を検討中です。セットトップボックスを付けることで、双方向通信の利用を考えており、自分の見たい文字放送を見られるようになります。

雲南市とケーブルテレビの対応が異なっていますが一部事務組合での運営は、様々なメリットがあり継続します。

9月定例会 町政を問う 一般質問

Q 肥料高騰対策に堆肥散布助成を

A 出口での支援を検討

門眞一郎議員

米価下落に続き、原油価格、肥料、農薬等農業資材の相次ぐ値上げにより、農家経済は危機的状況です。

このようななか、堆肥という有効な資源の活用を促し、減肥、減農薬生産の普及に努め、経費の削減を図る必要があると考えます。

肥料価格高騰対策として、堆肥散布に対する助成の復活、並行して減肥、減農薬生産技術の普及、エコ農家認定者の拡大が急務であり、勉強会等、積極的な推進を図る必要があります。財源は遊休資産の売却も考えられ、早急な対策を講じる考えは。

山崎 英樹 町長

堆肥散布への助成金は平成一六年から三年間、堆肥を投入して土づくりを行う継続的な施用の呼び水として行いましたが、助成金がなくなると使用量が減少したため、現在は助成を考えていません。

堆肥を投入した水田としない水田で、出口で差別化した支援等、議論しています。勉強会の開催は、JA・関係者とともに機会を積極的に設けながら推進します。

遊休資産の売却による財源確保の考え方は大切なことと思えます。

米の検査 (赤来集荷所)



Q 米の直売に道を

A 水田農業対策として検討

門眞議員

飯南町といえば米を連想させるPRが重要です。拡販に向けた提案をします。

二つの道の駅へ小型精米機を設置し、玄米を一キ口単位の量り売りで販売し、消費者は自分で精米機を利用して精米し持ち帰る販売方法。

小規模な精米施設を設置し、生産者が精米・包装を行い、道の駅や里山コミッションを通じて完売する方法。

微粉末加工が可能な小型製粉施設を設置して生産者が利用、米粉の生産・販売が行えるようにすることで、洋菓子類やパン等への利用を促し、新たな消費者の掘り起こしを行うものです。

消費者の裾野拡大が考えられ、早急に圏域のパイオニアとなることを提案します。

山崎町長

精米機を設置して量り売りを行う販売方法は消費者のニーズにあったものと考えます。どのような形で実施すべきか、課題も含め関係者と協議します。

小規模精米所の設置については、有効な手段とは思いますが、しっかりと計画や戦略が必要であり、JA・生産者・販売者等関係者と検討します。

米粉については、水田農業の対策のひとつとして取り組むべきと思っています。

下来島地内でコシヒカリの刈り取り

